

ストップ・ザ・ヒートアイランド

注目されるガラス再生材

記録的な猛暑だった今夏。ヒートアイランド現象を少しでも抑えようと、日本のあちこちで「打ち水大作戦」が展開されました。佐賀市でも「環境フォーラム」に参加した意欲的な学生たちを中心に、「打ち水」が実施されたのは記憶に

エコ・スロー...
最前線

新しいところでは、

いろいろな試みがなされる中、三日に開催された「県中小企業オンラインワンフェア」で、なかなかの優れものを発見しました。それは日本建設技術(本社・北波多村)が研究開発した「ミラクルソル」という、空き瓶な

どのガラス廃材に、発泡剤を混ぜて焼成した吸水性・保水性に非常に優れた再資源化素材です。

「打ち水」は蒸発時の気化熱により地表面の温度上昇を抑制しようという試みですが、歩道に敷設される透水性歩道ブロックの基盤層

ガラス廃材素材と製品の「ミラクルソル」

環境改善に多くの機能

に「ミラクルソル」を利用することで、さらに保水を持続させ、温度抑制効果ならびに風の道の長期持続が期待できます。

砕石に通常のブロックを敷設した場合と比べた実験では、最高温度差七・五度という結果が得られているそうです。この「ミラクルソル」は、佐賀大学との連携での有明海の水質浄化や「屋上緑化」「斜面緑化」にも利用されていて、リサイクルと環境保全に貢献する一石二鳥の優れものといえるようです。

さて、佐賀市環境課では来年以降も「打ち水」を継続する計画です。市民の皆さまのご協力をよろしくお願いします。

(川原理子＝佐賀市)